

研究計画「インフルエンザ罹患者における免疫応答の解析（継続研究）」について

「ヒト血液を用いた抗インフルエンザモノクローナル抗体の作製
（承認番号：25-74-0220）」
「インフルエンザ罹患者における免疫応答の解析（承認番号：29-71-A0320）」
にご協力いただいた方へ

東京大学医科学研究所ウイルス感染部門 特任教授 河岡 義裕

平素より東京大学医科学研究所ウイルス感染部門の研究について、格別のご理解をいただき厚く御礼申し上げます。

このたび、研究の進展に伴い、標記の研究を進めることになりましたため、ご報告いたします。この研究では上記課題にご協力いただきました方の試料・情報を使用させていただきたいと考えております。ご自身の試料・情報が本研究に利用されることを望まない場合には、下記の問い合わせ窓口までご連絡ください。

【対象者】

2014年2月から2023年3月にかけて東京大学医科学研究所で上記の研究課題のため血液を採取することに同意され研究に参加された方。

【研究方法】

- i. ボランティアから採取した血液から分離した単核球を免疫不全マウスに移植し、ヒトの細胞を持つマウス（ヒト化マウス）を作製します。（ヒト化マウスを作製し利用することによって、安全面・倫理面から直接ヒトに対して行うことの出来ない研究を実施し、ヒトでの反応・効果を類推することが出来ます。）
- ii. ヒト化マウスにインフルエンザワクチンを接種もしくはインフルエンザウイルスを感染させます。
- iii. ヒト化マウスから血液を採取し、血清やボランティア由来の免疫細胞を分離します。
- iv. 血清の抗体価や抗体産生細胞の働き、血液検体の乾燥パターンなどを詳しく分析します。
- v. 上記の解析に用います検体の一部の血液検体、抗体または抗体産生細胞は、共同研究機関である米国ウイスコンシン大学、米国ミシガン大学、米国スクリプス研究所、東京大学大学院総合文化研究科に送付し、解析する場合があります。

【研究組織】

研究代表者
東京大学医科学研究所ウイルス感染部門 特任教授 河岡 義裕

【研究期間】2023年3月27日～2024年3月31日

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
東京大学医科学研究所 ウイルス感染部門 担当 岩附 研子
電話：03-6409-2207 FAX：03-6409-2209
E-mail: kenken@ims.u-tokyo.ac.jp